

尺骨非定型骨折に対する手術療法の成績の研究について

研究機関 まつもと医療センター 整形外科
研究責任者 植村一貴（整形外科部長）

このたびまつもと医療センター 整形外科では、尺骨非定型骨折に対する手術療法の成績について、信州大学医学部整形外科を中心とした多施設共同研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

1. 研究の目的 及び 意義

ビスホスホネート製剤（BP 製剤）は骨粗鬆症治療の主要な薬剤であり、骨折リスクを軽減する効果が広く認められています。しかし、長期にわたる BP 製剤の使用は、正常な骨代謝を抑制し、微小な骨損傷の修復が遅れることで、非定型骨折のリスクを高めることも知られています。特に、大腿骨における非定型骨折は多くの症例報告があり、その治療法については確立されてきています。

一方で、尺骨非定型骨折（AUF）に関する報告は非常に少なく、文献でも稀なケースとして取り上げられてきました。骨粗鬆症への BP 製剤治療が標準的治療の一つとして長期間が経過した現在、AUF の発生件数が増加し、症例報告は増えています。しかし、その治療法、特に手術的アプローチについてはコンセンサスが得られておらず、標準的な治療ガイドラインも確立されていません。そのため、AUF に対する効果的な手術治療法の確立が求められています。

本研究の目的は、尺骨非定型骨折に対する手術療法の成績を評価し、その有効性を明らかにすることです。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2013 年 7 月 1 日～2023 年 6 月 30 日までの期間に当院において尺骨非定型骨折に対し手術療法を行った患者。

2) 研究実施期間

本研究の実施許可日 から 2026 年 3 月 30 日まで

3) 研究方法

後ろ向き観察研究

4) 使用する試料・情報

◇ 研究に使用する試料

無し

◇ 研究に使用する情報

観察項目は年齢、性別、左右、合併症、ステロイド・PPI・骨粗鬆症治療歴、骨癒合のタイミング、VAS score、上肢障害評価表（QDASH score）

5) 試料・情報の保存

まつもと医療センター 整形外科
2024年12月20日作成

本研究に係る情報（研究に関わる文書および研究データ棟）は、管理責任者（代表研究機関 信州大学医学部整形外科）のもと、論文棟の成果発表後 10 年間、代表研究機関（信州大学医学部整形外科）の施錠可能な保管庫に保管します。保管期間終了後、紙データは匿名化されたままシュレッダー等を用いて廃棄し、電子データはデータを完全に消去。共同研究施設各期間における保管耐性、保管期間は主任施設に準じます。

6) 研究計画書の開示

本研究では介入を伴う研究ではないため、データベースへ臨床試験登録は行いません。病院ホームページ等で情報を公開します。

7) 研究成果の取扱い

本研究の成果は、関連学会（日本整形外科学会、日本手外科学会等）・論文にて公表予定です。

8) 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。資料・情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

まつもと医療センター 整形外科

研究担当医師 植村一貴

連絡先（電話番号） 0263-58-4567（平日：9時～17時）

9) 外部への試料・情報の提供

本研究の資料・情報は将来の研究への二次利用、又は他の研究機関に提供する予定はありません。

10) 研究組織

まつもと医療センター 整形外科

植村 一貴

連絡先：0263-58-4567

代表研究機関

信州大学医学部整形外科

磯部 文洋

連絡先：0263-37-2659